

実証実験サポート事業について(概要版)

2022年7月

熊本県庁 商工労働部 産業支援課

R4年度UXプロジェクト実証実験サポート事業について

事業目的

実証実験を対象とした支援を通じて、熊本県の社会課題の解決や県民サービスの向上につなげていくとともに、スタートアップ企業等への支援により産業を振興することを目的とする

事業概要

県が設定した社会課題(県民課題)を解決するために、スタートアップ企業等の実証実験を支援する

1 公募内容

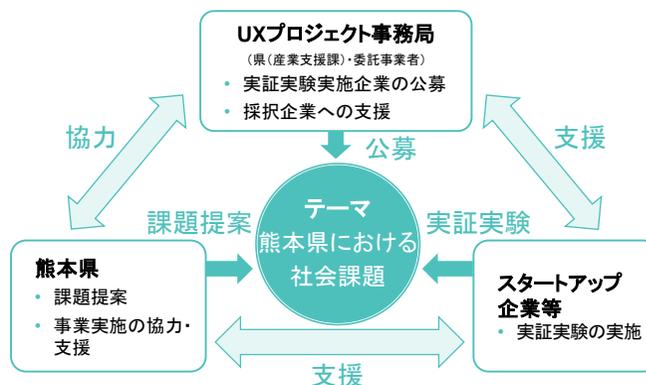
次の3つの条件をいずれも満たす実証実験プロジェクトを募集⇒**4件程度採択**

- 県の社会的課題の解決や県民生活の質の向上に資する取組であること
- 県の産業振興に資する取組であること
- 県の示す募集テーマ(2スライド目以降参照)のいずれかに合致する取組であること

2 公募スケジュール予定

7月5日～8月12日 公募期間
7月15日 説明会
7月29日 エントリーシート作成相談会
8月19日頃 1次審査結果通知
8月下旬 2次審査(プレゼンテーション)
8月下旬～9月上旬 事業者への面談
9月上旬 2次審査結果通知
9月上旬～2月末 実証実験期間
3月上旬～3月中旬 実証実験成果報告書作成
3月中旬 成果報告イベント

実施体制



支援内容

- 最大200万円の経費支援
- 県内公共施設、協力企業が有する施設などの実証実験フィールドの斡旋
- 実証実験モニター募集支援、実証実験に係る各種調整等
- 規制関係等に関するアドバイス
- 実証事業のPR支援
- その他、熊本県が必要と判断する支援

採択

熊本県が抱える社会課題をもとにした募集テーマ

熊本県が抱える社会課題をもとに、21テーマを設定
県が設定した社会課題(県民課題)から1つ選んでください
有識者審査を踏まえ、選定した提案の実証実験を支援します

No.	テーマ名
1	～くまモンと美しく健康寿命を延ばす～見た目も心身もアンチエイジング
2	SDGsを意識したライフスタイルの推進
3	GPSを活用した海上タクシーの利便性向上
4	離島地域における観光・生活の利便性の向上
5	菊池南部エリアにおける渋滞対策の検討
6	地域の事業所からの弁当注文プラットフォーム提供による効率化と栄養指導
7	複数の企業・団体が保有するデータの連携による新たな価値創造の促進
8	阿蘇くまもと空港周辺市町村におけるデジタル化・DXの推進
9	新たな産業創出やスマート・ビレッジによる、球磨川流域の持続可能な地域の実現に向けた実証
10	健康無関心層・若年層への健康づくりのアプローチ

No.	テーマ名
11	睡眠可視化で快眠サポート ～生活習慣病の予防～
12	エネルギー回収施設等を核にしたカーボンマイナス植物栽培施設の展開
13	ICTを活用した鳥類による被害防止対策の実証
14	県内への再生可能エネルギー導入拡大のためのVPP事業者の育成
15	マンガ・アニメのデジタルコンテンツ等を活用した空港周辺活性化
16	熊本空港から世界へ、CA&空港スタッフを“くまもとエキスパート”に育成～
17	地産地消推進のための直売所間の県産品流通促進実証
18	スマート田んぼダムのお取組みの普及・拡大に向けた低コストかつ簡易な自動給排水システムの開発
19	RTK運営事業者と農作業代行サービスが連携したスマート農業の推進
20	「大空港構想」の実現に向けた新たな移動手段の創出
21	世界の舞台で活躍する本県関係トップアスリートの更なる輩出



～くまモンと美しく健康寿命を延ばす～見た目も心身もアンチエイジング

- 平均寿命・健康寿命を延伸し、社会保障費を低減させる
- 健康寿命と心身の美しさを延伸し、QOL(生活の質)・幸福量の最大化につなげる
- くまモンのファンが多い30代以上の女性をターゲットに、くまモンブランドを冠した複合サービスを提供し、くまモン(熊本県)のブランド力向上と新産業の振興につなげる

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 高齢化率は年々上昇
- 健康寿命と平均寿命との差が10年程度
- 健康寿命の延伸とアンチエイジングの確保・実現の不連動

実現したい姿

- 女性の平均寿命と健康寿命の差を縮小し、QOLの向上と幸福量の最大化を実現
- くまモンブランドを冠したサービス(商品)として市場流通させ、くまモンのファンが多い30代以上の女性をコアファン層として確立させる

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 複合サービスを開発し、健康寿命・アンチエイジングの実現に必要な要件・指標を設定、改善度の検証をする

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 健康寿命の延伸効果の確認に相応の時間を要する点
- 検証項目の設定や真正実験モニターの確保

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- くまモンランド化構想(※)の一環としての事業者とのコラボを検討中
※くまモンランド化構想とは、本県全体がくまモンの魅力あふれる場所となり、世界中からヒト、モノ、企業(ビジネスの活性化)が集まる地域となることを目指すもの

SDGsを意識したライフスタイルの推進

- 県内事業者のSDGsに関する意識の向上と取組みの拡大が認められるが、県民におけるSDGsの意識醸成は未だ不十分
- 県民のSDGsに対する理解とライフスタイルへの変容を促し、本県のSDGsを推進させたい

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 県内事業者のSDGsに関する意識の向上・取組みの拡大はあるものの、県民のSDGsの意識醸成が不十分

実現したい姿

- 企業・生産者等のSDGsに係る取組みにより生活環境が豊かになっていること、一人ひとりの行動がSDGsの実現に結びつくことを周知し、県民のSDGsに対する理解とライフスタイルへの変容を促す

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 県民がSDGsを体験できるイベントの実施
- 県民のSDGs意識調査とデータ分析、評価の実施
- SDGsへの貢献度を可視化するアプリ等の実証

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 熊本県SDGs登録事業者への協力依頼、参加案内等
- 県HPや熊本県SDGs公式フェイスブック「くまもとSDGs」等を活用したPR



GPSを活用した海上タクシーの利便性向上

- 離島地域の移動手段の海上タクシーでは、利用者が海上タクシーの現在地を把握できず、離れた場所を航行しているものを利用している場合がある
- GPSにより、近くを航行している海上タクシーを把握し、利用者の利便性の向上や効率的な海上タクシーの運行を促進させたい

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 離島への定期船は運行航路・便数が固定されているため、定期船以外の移動方法として海上タクシーが利用されている
- 利用者は電話で予約を行うため、海上タクシーの現在地は把握できず、離れた場所を航行している場合、迎えに行くまでに時間を要する

実現したい姿

- GPSを活用して海上タクシーの現在地を把握し、利用者・運用者双方にとって効率的な海上タクシーの運行体制を作る

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- GPSを活用した海上タクシーの位置情報の把握と移動距離・時間の比較
- 海上タクシーの予約を一元的管理し、GPSで把握した情報に基づいて海上タクシーを連絡・派遣する体制の検証

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 海上タクシー運行事業者への協力要請

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 地元市や関係団体等との協議について、地域振興課で調整事務を実施



離島地域における観光・生活の利便性の向上

- 離島地域は交通手段が限定されていることから、観光周遊性の向上・生活利便性の向上策を検討し、地域の活性化につなげていく

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 観光客増加が見込まれるが、交通手段・輸送可能量が限定的で、受入体制の整備が課題
- 離島では、公共交通機関がない場合、島側・本土側の双方に車を保有している場合など、住民の交通手段に係る負担が大きい

実現したい姿

- 電動キックボード／電動アシスト付き自転車と島内各所へのレンタルポートの設置により、観光周遊性の向上・利用頻度や行き先などのデータを踏まえた観光施策の展開と生活利便性の向上

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 島内数か所に電動キックボード/電動アシスト付き自転車のポートを設置し、行き先や滞在時間・ポート毎の利用度合い等の実証
- 島民の当該事業の活用度合いや自動車との経済的負担等の比較

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 地元市町村や地域団体等も交えた台数・時期の検討
- 地元の理解や利用にあたってのルール of 検討
- 事故が発生した場合の対応

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 地元市や関係団体等との協議について、地域振興課で調整事務を実施



菊池南部エリアにおける渋滞対策の検討

- 菊池南部エリアでは慢性的に通勤時間帯の渋滞が発生。同エリアは製造業の集積地となっており、渋滞による経済的損失も懸念
- 渋滞状況の把握・渋滞対策の効果などを視覚化し、関係機関の情報共有・通勤者等への意識啓発等に活用したい

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 合志市、大津町、菊陽町は、県全体の製造業出荷額の多くを占め、人口も増加している大きな企業集積地
- 以前から通勤時間帯の交通渋滞が慢性化しており、時間的・経済的損失が大きい

実現したい姿

- 渋滞状況の定量的な可視化
- 新たな渋滞対策の提案。公共交通への誘導が現状主な対策となっており、最新の知見によるアイデアなどあれば積極的に取り入れたい

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- AIカメラ、ドローン技術を活用した精度の高い渋滞情報の取得
- AIを活用したシミュレーションによる効果的な渋滞対策の提案

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 混雑の状況が流動的であること。
- 製造業の業態的制約により取りうる対策が限定されること

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 菊池南部地域交通混雑等対策検討会への協力の打診
- その他関係団体、企業との調整支援
- 県北広域本部が保有する既存データの活用



地域の事業所からの弁当注文プラットフォーム提供による効率化と栄養指導(健康増進)

- 弁当注文における、事業所と弁当事業者の一連の業務をオンライン化し、事業者の負担軽減・注文者の効率的な注文を実現
- 注文履歴から把握される食事傾向や摂取カロリーから栄養指導などを行い、健康増進に繋げる

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 弁当事業者の一連の業務量の多さ
(電話注文、現金対応、注文忘れ・漏れ)



実現したい姿

- 弁当のネット注文(注文履歴の確認)
- 注文リスト作成
(弁当事業者毎の注文と金額集計)



付帯サービスへの拡張(将来の展望)

- 栄養管理・健康管理
- キャッシュレス対応、配達代行機能



課題実現に向けて想定している実証イメージ

- デジタル戦略局執務室からの弁当注文
- 利用職員・弁当事業者の効果検証
- 栄養管理・健康管理に関する満足度の調査

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 弁当事業者の協力(オンライン対応)
- マネタイズ(収益事業として自立できるか)
- 個人情報・事前同意の取扱い

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- デジタル戦略局において活用している弁当事業者リスト
- 注文者の拡充

複数の企業・団体が保有するデータの連携による新たな価値創造の促進

- 民間企業や各種団体がそれぞれで保有している様々なデータを連携し、データを活用したサービスや商品の開発など新たな価値を創造したい

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 企業や団体等が保有するデータは別々に収集・保持されている

実現したい姿

- 複数の企業・団体がそれぞれに保有するデータを連携させることにより、サービスや商品の開発など新たな価値を創造する

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 異なるデータ群の組み合わせによるビジネスアイデア創出の実証
- データ連携における現場レベルでの課題抽出
- 行政データを含めて有用となるデータのニーズ検討

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 企業、団体の協力（保持しているデータの開示や、企業秘密等）
- マネタイズ（データの提供等における金銭の発生）

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- くまもとDX推進コンソーシアムの会員企業への周知・呼びかけ



阿蘇くまもと空港周辺市町村におけるデジタル化・DXの推進

- 阿蘇くまもと空港周辺は、新たな人の動きや近代的な建造物による新しい熊本の顔となることが期待されると共に、周辺市町村も地域の活性化・若い人達の流入が期待されている

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 大きな企業の進出に伴う慢性的な渋滞
- 空港周辺地域における市町村において、デジタル技術を活用した取組みの動きあり

実現したい姿

- 空港周辺地域におけるデジタル化・DXの取組みを、企業のデジタル技術やサービスを活かした施策展開
- デジタル技術を活用し生活に根差したスマートな社会の実現

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 市町村の取組みについて、特に防災、交通、観光、生活サービスにおいて、サービスアイデア創出の実証
- さらなる価値にあたり行政データ群の洗い出し

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 企業、団体の協力（保持しているデータの開示や、企業秘密等）

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 空港周辺市町村との調整
- くまもとDX推進コンソーシアムの会員企業に対し、実証への参加を募る等の周知・呼びかけ



新たな産業創出やスマート・ビレッジによる、球磨川流域の持続可能な地域の実現に向けた実証

- 球磨川流域では被災地域では創造的復興に向けた取組みが懸命に進められている
- 「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」に沿った取組みを促進することで、創造的復興を更に加速し、球磨川流域に若者が“残り・集う”持続可能な地域の実現をしたい

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 球磨川流域は、豪雨被害が甚大かつ、人口減少・高齢化が懸念される地域
- 今後、災害からの復旧とともに、地域維持・再生のため、人口流出の防止と地域経済・産業の復興が喫緊の課題

実現したい姿

- 若者が“残り・集う” 持続可能な球磨川流域の実現
- 高齢者が生涯に亘り住み続けられる、安全・安心で、利便性の高い地域の実現

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 新たな産業の創出や企業誘致に係る調査検討
- 大学や研究機関と連携した、新たな商品開発やビジネスアイデアの実証
- 最先端技術を駆使したライフサイエンス分野の取組みや、持続可能な農業・林業のスマート化など

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 当該流域のポテンシャルの整理
 - 大学や研究機関等の検討体制の構築
 - 実証フィールドの確保
- ### 実証をするにあたり、提供可能なリソース
- 大学・研究機関等と協議を行う場合の調整
 - 実証フィールドの場として流域市町村の協力が必要な場合の当局から市町村へ協力依頼

健康無関心層・若年層への健康づくりのアプローチ

- 健康寿命を延伸させる取組、特に生活習慣病が死亡・受療の大部分を占めることから、死亡率の減少や医療費適正化のために、健診受診率向上による生活習慣病の発症・重症化予防が必要

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 健康寿命と平均寿命の差が拡大している
- 生活習慣病に係る受療率が全体の約3割を占め、特定健診受診率が比較的低いため、生活習慣病は既に若い世代の方がかなり重症化している事例も多い

実現したい姿

- 若いうちからよりよい健康行動をとることができるための環境を整え、県民全体の健康寿命を延伸させ、ひいては医療費適正化を実現したい

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- ビッグデータを解析し、将来の健康状態や重症化の予測が可能なシステムを構築

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 幅広い年齢層の健康診断・レセプトデータがある事業所の協力の有無
- 健康無関心層、若年者への対象者選定
- 健康診断の受診結果、レセプトデータの匿名化処理が必要

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 「人生100年くまもとコンソーシアム」で分析したデータ等の提供が可能。
- スマートライフプロジェクトとの連動



睡眠可視化で快眠サポート～生活習慣病の予防～

- 「睡眠障害」に悩む県民が多く、熊本地震や豪雨・新型コロナウイルス感染症が重なり、熊本県は睡眠障害のリスクが高い
- 睡眠を可視化のうえ計測・分析し、生活習慣病の予防にもつなげ、ひいては健康寿命を延伸させる

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 睡眠は重要な役割を果たし、適切な睡眠をとらないと、生活習慣病や精神疾患などの発症リスクが高まる
- 「統合失調症」が最も多く、「精神・神経疾患」の医療費、患者数ともに増加傾向

実現したい姿

- 「睡眠障害」を予防改善することで、「気分障害（うつ病等）」や「生活習慣病」発症リスクを減らし、健康寿命の延伸につなげる

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 幅広い年齢層の「睡眠」を可視化し、計測・分析することで、生活習慣病等の発症リスクの予測を行い、保健指導等につなげる

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 幅広い年齢層の睡眠データの蓄積に係り、一定規模の事業所等に協力を依頼する必要がある
- 個人で睡眠データを計測するため、機器・マニュアルの周到な準備が必要

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 実証に協力していただける事務所等についての選定依頼等の調整・協力
- 人生100年くまもとコンソーシアム 分科会Ⅱ（精神・神経疾患）のデータや分析等情報共有が可能である



エネルギー回収施設等を核にしたカーボンマイナス植物栽培施設の展開

- エネルギー回収施設等から供給される「熱」「電気」「CO2」「たい肥」を活用することで、ゼロカーボンさらにはカーボンマイナスで、種や種苗、薬草・果実等の高価値の作物を栽培

エネルギーシフト
➡ ゼロカーボン

+

生育過程でのCO2吸収
➡ カーボンマイナス

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 産業部門は県全体の温室効果ガス排出量の4割弱。特に施設園芸では冬期の加温に化石燃料を使用している

実現したい姿

- エネルギー回収施設等から供給される「熱」「電気」「CO2」や「たい肥」を供給し、高価値の作物等を栽培する

課題実現に向けて想定している実証イメージ

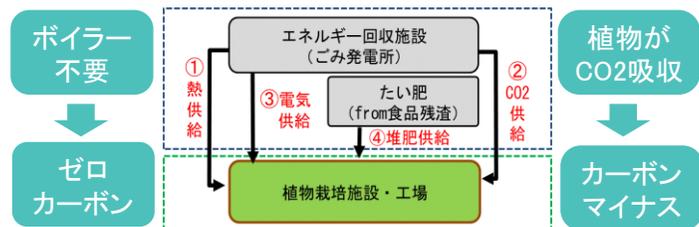
- エネルギー回収施設からのエネルギー等の供給を前提とした、具体的な事業計画の作成

実証にあたり支障になることが想定される事項

- エネルギーやCO2等の供給方法やコストの検討、効果的な栽培作物の選定

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 新たに整備される予定のエネルギー回収施設の基本情報



ICTを活用した鳥類による被害防止対策の実証

- 鳥類(カモ類)による顕著な農業被害地域にモデル地区を設定し、地域の狩猟者や農業関係者等と連携を図りながら、生態系の保全と農業被害の軽減を目的に、既往の技術改善や新技術等を組合せながら効率的・効果的な捕獲対策技術の実証を行う

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 農作物への被害は、被害金額として数字に表れる以上に事業者の意欲に深刻な影響を及ぼすと考えられる
- 今後の銃猟免許取得者・有害鳥獣捕獲従事者の確保が危惧される

実現したい姿

- 複数の対策の組合せと設置場所や対策の変更による「慣れ防止」対策を実施
- ICTを活用した鳥類監視や侵入防止、追い払いの実施、捕獲活動等の効率化・省力化
- 低コストで、持続可能な対策としての検証

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- AIドローンによる広範囲の監視及び侵入した鳥類の追い払い実証
- ICT活用網罟による捕獲の実証
- AIロボットハンターを活用した威嚇、追い払いの実証

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 狩猟者の育成・確保、地域ぐるみでの取組及び隣接地域との連携の推進を図る必要がある
- ドローン利用にあたり、各種法令の遵守

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 猟友会への専門的知識と技能に係る助言・指導、あるいは技術提供を依頼する
- 農業被害対策を実施する地域の環境保全組織や関係機関と連携し、被害防止対策の検討を進める

県内への再生可能エネルギー導入拡大のためのVPP事業者の育成

- 小規模な蓄電池等を束ねて大規模な需給調整機能を発揮させるVPP(バーチャルパワープラント/仮想発電所)の取組を地場の電設・IT事業者等を絡めて促進したい

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 再エネ発電量が多く電力需要が少ないときは、再エネが捨てられている
- 再エネ発電量が多く電力需要が少ないときに電力を貯めるといった『需給調整機能』の充実が必要

実現したい姿

- 地場の電設・IT事業者等が電気事業者や大手メーカー等と協力の形で、VPP事業を本県でも根付かせたい



課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 地場の電設・IT事業者が、大規模な需給調整機能を発揮させ、需給調整市場などから対価を得る
- 通信制御装置などは大手ベンダー製のものを活用し、地場企業はそれらを運用するノウハウを蓄積する

実証にあたり支障になることが想定される事項

- VPP事業者としての協働事業者の選定
- VPP事業はマネタイズ方法が未確立と言われており、どのように収益性を確保するか

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 蓄電池: 県がR2年度にモデル補助を行った15件の家庭用蓄電池
- 人脈: R2年に開催した「VPPキックオフセミナー in くまもと」参加者名簿

マンガ・アニメのデジタルコンテンツ等を活用した空港周辺活性化

- 多くの観光客が集まる空港において、マンガ・アニメ等のデジタルコンテンツによる魅力的かつ効果的な情報発信や、空港周辺でのイベント等により、更なる誘客・周遊促進を図るとともに、コンテンツ産業の集積を通じた関係人口の拡大も目指す

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 「マンガ県くまもと」を目指すに当たり、玄関口である空港に「マンガ・アニメの聖地にやって来た！」とワクワクさせ、印象付けるフックがない
- マンガ・アニメスポットのみならず、周辺の観光施設等も含めた周遊促進を図る必要がある

実現したい姿

- 空港周辺を起点としたコンテンツツーリズムを展開
- マンガ・アニメファンに対し、「聖地」だけでなく、聖地周辺の観光施設等への周遊を喚起する情報発信

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- マンガ・アニメのデジタルコンテンツを活用した魅力的かつ効果的な観光案内ツール(手段)の実証
- 空港周辺を活用したマンガ・アニメイベントの実証



▲床面プロジェクションマッピング
※楽しみながら観光情報を発信



◀AI案内

実証にあたり支障になることが想定される事項

- マンガ・アニメ等を使用する際の著作権調整
- デジタルコンテンツ制作後の保守点検・維持管理費

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 県が既に取り組む事業と連携する事業を提案する場合の著作権調整



熊本空港から世界へ、CA & 空港スタッフを“くまもとエキスパート”に育成～✈

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い失われた観光需要を回復するため、CtoCで熊本への旅行マインドを上げる

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- コロナ前に行っていた誘客策は、いわゆるBtoBが主流だったが、withコロナ時代では消費者の旅行マインドを動かすことまではできない
- 航空会社では、クルーが応援隊として地域に入り、地域とシンクロした活動を行い、旅行需要に繋げる動きもある

実現したい姿

- 球磨焼酎や温泉などの知識を習得したCAや熊本空港スタッフが、“くまもとのエキスパート”として、消費者に熊本の良さを発信し、熊本への旅行マインドを上げる、CtoCの新たな誘客策の確立

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 旅好きなエアラインスタッフの強みをさらに活かした旅行者への熊本の観光情報を提供することによって、より深い熊本の魅力を伝える

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 特になし

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 航空会社がウィズコロナを見据えて新たな事業に着手し、客室乗務員が地域活動を展開できる素地ができている

地産地消推進のための直売所間の県産品流通促進実証

- アプリやサイト上での共通のプラットフォームを整備することで県内直売所間の過不足の調整を容易にし、相互の発注と配送を行い、効率的な運搬体制を構築することで、直売所の品揃えの充実による集客力向上と食品ロス削減を目指す

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 売れ残り商品は生産者または店舗が回収・処分を行うため、食品ロスとなる
- 商品交流(取引)において、自社物流での運行は、労力とコスト負担が大きい

実現したい姿

- 県内直売所を繋ぐ「県産品物流ルート運用システム」の構築

※待機中の輸送車等(社用車、バス、通勤自家用車等)やドライバー(在宅者、高齢者等)を有効活用した配送手段など



課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 県内の直売所等が情報共有・取引を行い、相互に商品を融通できる体制の構築
- 直売所間で交流する商品伝票の電子化
- データ蓄積を元に運行ルートを最適化する。
- 新しい配送手段の構築

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 実証後の運用に際し、必要となるコストによっては、参加数の停滞や立ち上げが困難になる懸念
- 産品運搬者として地元居住者の活用や、他業種との連携など、実現可能性についての検討

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 「熊本県物産館等連絡協議会」の会員12店舗の紹介と実証への協力要請が可能

スマート田んぼダムの取組みの普及・拡大に向けた低コストかつ簡易な自動給排水システムの開発

- 本県の農業は、生産・経営の効率化やリスク管理が喫緊の課題
- スマート田んぼダムの取組みは、高額なイニシャルコスト・ランニングコスト、高度かつデジタル知識を要する操作方法などが導入のネックとなっている

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 高額なイニシャルコスト・ランニングコストのため、大きな経営規模が必要
- 導入にあたっての高度かつデジタル技術を要する操作方法

実現したい姿

- 田んぼダムの取組みなど国土強靱化・緑の流域治水の推進
- 本県農業の競争力の強化・食料安全保障への貢献
- 営農活動の継続・新たな担い手の確保

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 低コストで操作が容易な自動給排水栓やシステムの開発
- 農業者のニーズ調査、企業内での研究開発、開発された機器やシステムの現場での実証試験

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 事業者による実証作業と、実証農地の営農作業や農家意向との調整
- 気象状況による実証への影響
- 既存事業者とのすみ分け

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 既存のモデル農地における試験結果やニーズ等の情報提供
- 実証農場や農家の紹介



RTK運営事業者と農作業代行サービスが連携したスマート農業の推進

- 本事業における実証を通して、RTK基地局を利用したドローン防除機等を活用し、精密かつ迅速な農作業を請け負うサービス事業体を育成したい

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 平坦地・中山間地で農作業の負担が増加
- 農作業を請け負う「農作業サービス事業体」が求められているが、オペレーター確保には農作業経験の少ない人でも従事できる仕組みが必要



実現したい姿

- RTK運営事業者と農作業サービス事業体が連携し、スマート農業機械を用いて、防除等の農作業代行サービスを実施
- RTK基地局を整備することで、将来的には多様な機械の無人化が可能になり、スマートタウンの実現を目指す



課題実現に向けて想定している実証イメージ

- RTK位置情報サービスを提供する事業者が、実証地区にRTK基地局を設置、サービス可能エリアの実証
- 農作業サービス事業体がRTKを利用したドローンで防除を実施、防除効果および省力効果を実証

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 基地局の土地の確保
- RTK基地局の設置および操作を行う場合、電波法に基づき無線局免許申請(総務省)および操作資格(第三級陸上特殊無線技士)が必要
- 基地局の設置費用は、100～300万円と高額。

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 市町村または農業者へ協力依頼の支援
- 本県の研究機関が公表したスマート農業機械に関する試験データの提供

「大空港構想」の実現に向けた新たな移動手段の創出

- 熊本地震からの創造的復興の一環である「大空港構想」の実現に向け、空港周辺を活性化するため、新たな移動手段の確保が課題
- ICT交通マネジメントを普及させることで、安全かつ円滑な人流・物流の確保が期待される

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 熊本県では、空港の活性化による人口拡大と地域の活性化を目指しており、「大空港構想」を進めている
- しかし、空港周辺エリアにおける各地点へのアクセスは自家用車以外では非常に困難で移動手段の確保が課題となっている

実現したい姿

- 自動運転を通じた新たな移動サービスの導入による空港周辺エリア各地点の移動利便性向上

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- ①テクニサーチパーク内、
- ②空港とテクニサーチパーク間での2段階の実証を想定



実証にあたり支障になることが想定される事項

- 実施事業者の選定

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- 道路付属物の整備、道路機能の付加など
- 実証の場の提供(県管理道路)
- 実証に必要な道路管理者、交通管理者協議の円滑化

世界の舞台で活躍する本県関係トップアスリートの更なる輩出

- 今後、世界の舞台で活躍する本県関係トップアスリートの更なる輩出のため、県内スポーツ団体や大学等と連携した医科学的根拠に基づく発掘・育成・強化体制を構築したい

現状・課題→実現したい姿

現状・課題

- 社会人アスリート・学生アスリートを対象とした強化プログラムを実施中
- タレント発掘プログラムを実施
- 学生アスリートやタレントへの支援については、育成環境における効果的なトレーニング効果につながるエビデンスが必要

実現したい姿

- 学生アスリートやタレントの身体能力及び競技力の向上
- スポーツ関連のデータアナリスト育成
- スポーツや健康を支える人材の育成及び県立高等学校の魅力化推進
- 本県関係トップアスリートの更なる輩出
- 県民の健康増進及び体力向上

課題実現に向けて想定している実証イメージ

- 遺伝子検査及び運動・栄養プログラムを提供し、実施前後での身体変化・競技力の向上を検証する

実証にあたり支障になることが想定される事項

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

実証をするにあたり、提供可能なリソース

- トップアスリート・アスリート・タレント対象者の選出及び参加調整
- 本事業において委託しているスポーツ関係団体との連携・調整